















ですったなこんな

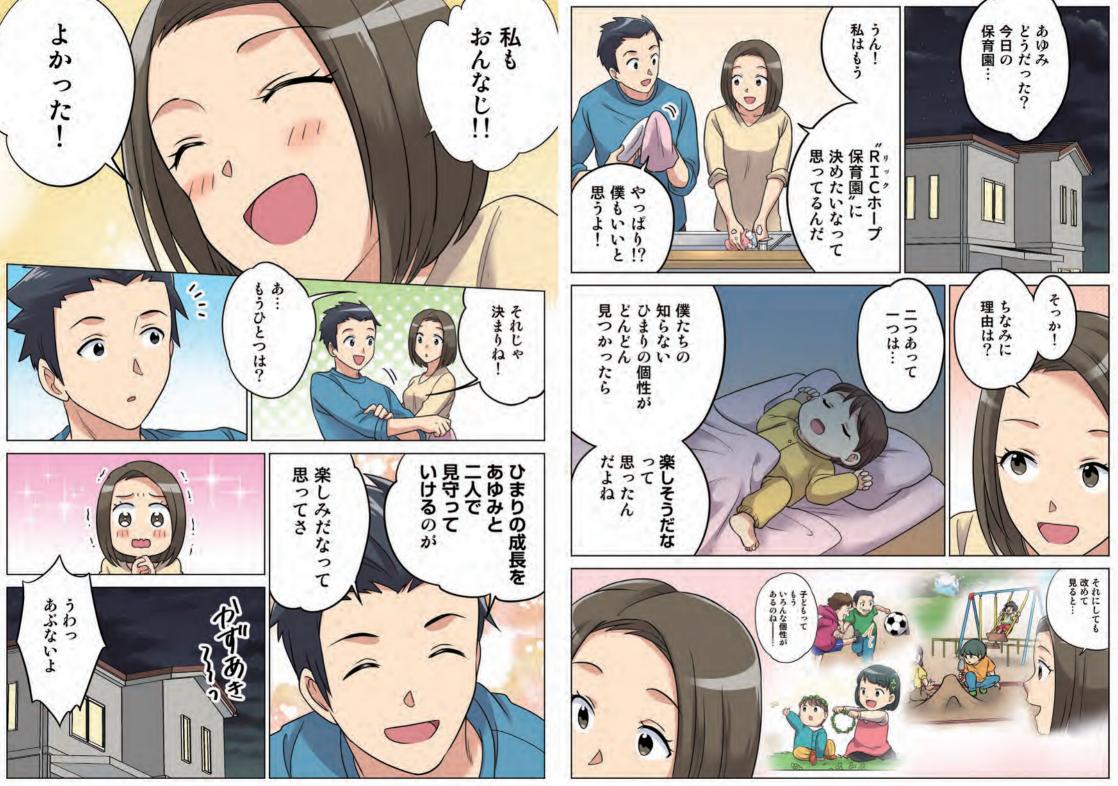
育児担当制保育

保育計画のことです

体験を通じて環境に適応する力や

コンセプト・プロジェクト保育 年齢別の養護や教育などが一体となり 自己リーダーシップ育成が行える

豊かな人格を培う保育方法です 保育者が子ども一人一人の発達や 心理状況などを把握することが大切です



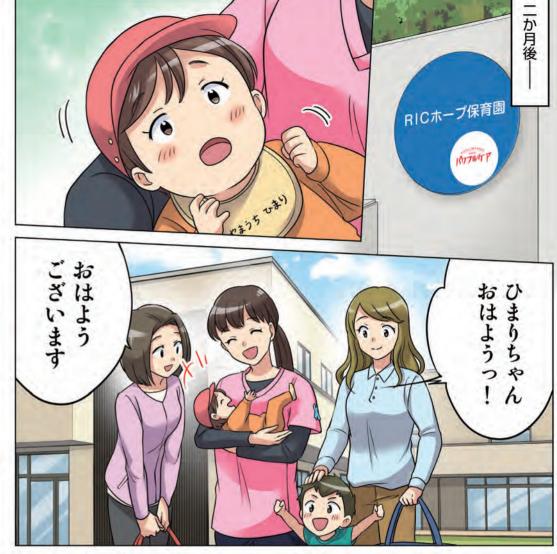






すごく楽しみ! ひまりと私たちの未来… おかげで、









20

屈川朱

"自己リーダーシーン"自己リーダーショ園の保育理念は

シップ

がレクチャ RICホープ保育園の特徴を、 していきます マンガに出てきた堀川保育十

世話をしてくれる人を信頼し、 自分は愛されていると感じる

自ら成長し自立して

貢献すること!



周りの大人や友達とのやり取りを通して、 意欲や好奇心を育む

日々子どもたちと向き合っています。 力」を備えた豊かな大人となるために 「考える力」、 います。 「身体で感じる力」 子どもたち一人 「愛する 人が

## 生まれながらに もつている「潜在力」

理解し、 な生活環境を整えている部分に 在力がうまく引き出されるよう より、子どもたち一人一人の潜 の生活環境に左右されます。 かどうかは、 です。それが十分に発揮される に応じたエリアづくり、 人の内側に潜んでいる可能性 私たちの保育の特徴は、 潜在力とは、子どもたち一人 実践できるスタッフに 人や物、 自然など 理念を

保護者の皆さん 目標に向かって困難を友達とともに乗 と一緒に子ども り越え、達成する喜びを味わう たちの力を引き 出します。 潜在力 私たち保育士が 常に 思っていること あります。

21

# 解決する力課題や困難を受け入れ

かえることもできます。 開くのに不可欠な力です。 「自己リーダーシップ」 プ保育園が提唱している独自の概念で 人が自ら成長する力、 人生を自ら切 自立心と言 Rٵ .. しっ ホ

シップ」 れを実現するための体制を構築し、 念や価値観に基づいて目標を設定し、 示されるのを待つのではなく、 課題や困難に直面したとき、 人たちとともに協力し合って解決を と捉えています。 ープ保育園では その行動を支える資質を、 「自己リーダー 自分の理 人から指 周り

ちはこの潜在力を引き出すことを大切に らに備えている力(潜在力) めに必要なのは、 その 「自己リーダーシップ」を育むた 全ての・ 人が生まれなが です。

取り組んでいる 保育方針を考案、

基づいて



保育理念を実現する重要な要素であると考えています。 保育の環境は子どもたちの成長の「土壌」であり

るのは、遊びから学ぶきっかけがたくさ できごと」全てを含めたものを保育環境 んあることと、 分使えるようにしています。 人」、「そこにあるもの」、 -Cホープ保育園では、 子どもたちが自分のチカラを十 生活しやす 「そこで起こる 「そこにいる いことです。

知るエリア

絵本などが置かれていて、

学びを深める。

ちが満たされる。

体を動かすエリア

ボールやトンネルなどが置かれて

いて、体を大きく使って遊べる場

所。遊びを通して体の使い方を知

る。バランス感覚も養われる。

集中するエリア パズルや積み木など、座 って遊ぶおもちゃが用意 されている。一人ででき た達成感を味わい、気持

一人、または気の合う仲間 と2~3人で、思い思いの 姿勢でゆったりと楽しみ、

# 遊びから学ぶきつかけがたくさんあること

子どもたちは遊びに没頭することができ だりする りしています。 びの特徴ごとに遊ぶ場所を細かく分けた の交流を促す て遊べる「体を動かすエリア」、 います(目的エリア)。 保育室がいくつかのエリアに区切られて 大きく6種類に分けられます。 さまざまな遊びの道具を並べたり、 「ごろごろエリア」、 「ふれあいエリア」 上の図を見てください。 座ったり寝転ん そのため 体を使っ など、 友達と

「そこで何が起こるのか」を予 そして子どもの成長す 自分で考えてエリアを 子どもは指示さ

作っていると言えます。 (自己リ 見守ります ダー 自ら考えて

育者は、 る姿を発見し、 想して環境をしつらえ、 遊びからさまざまなことを学びます。 選んで遊びます。 れるのではなく、

. 子どもたちは、 自分で考えてエ リアを選んで遊

んでいます。

生活のエリア

心地よく過ごすために、自分でできるこ とはするように促すつくりになっている。 ※貼ってあるマークを見て、乳児でも自分のロッ カーの場所がわかる。

ごろごろエリア

集団で生活する中でも一時的 に一人になって疲れた心身を 休める場所。肌触りのいいも のに囲まれて心がやすらぎ、

エネルギーをチャージできる。

#### ふれあいエリア

ままごとなど、友達と言葉 のやりとりを楽しむごっこ 遊びのための場所。会話を 通じて友達との関係性が作 られていく。

## 遊びのエリアは

各エリアは以下の観点に留意して、 保育者全員が意見を出し合い設定 しています。そのエリアをつくる 目的に、とことんこだわります

- 1. 子どものどんな力、どんな行 動を引き出したいのか考える
- 2. 一人一人の発達に配慮する 3. 子どもの気持ちや意欲に応じ た選択肢を用意する
- 4. エリアは柔軟に組み替える

子どもたちの生活が習慣化し、 れている環境です。 子どもにとって生活しやす 物や行動手順が整理さ

生活しやすいこと

のは動線

育むことにつながります。 そのような環境は、

23

## 日々育まれる愛情と学びの体験で 豊かな人格を形成



-時預かりの お子さんにも、 育児担当制保 育を行ってい

環境に適応する力を培う

## 環境適応型育児担当制保育

生活リズム:眠くなる/おなかがす《

排せつのタイミング

動き方:身体の発達に応じてできること

動きのテンポ

興味、関心: 今までの体験、経験

性格や好み:もって生まれた気質や癖 周 辺 環 境:子どもを取り巻く周辺の環境

体験を通じて環境に適応する力や 年齢別の養護や教育などが一体となり 自己リーダーシップ育成が行える 保育計画のことです



保育理念を達成する 独自の方法を考え、

保育園の

自立に向かい、 成長しながら進む力を培う

ンセプト・プロジェクト保育

知識や技能を学ぶ 第2ステップ/夏 行動し体験する

第3ステップ/秋

ことで人は強さを養います

春と夏を越えて実った成果

試行錯誤しながら、

困難を超える

の過程を慈しみ、

人それぞれが違うこと

のステ

に向けてエネルギ

四季のある日本に生きる私たちにと

この四段階で計画されている保育は

冬は休養。秋に得た恵みに感謝

優しさが培われ

成果を確認し、振り返る

の成長を促していく、

そんな保育を行

次に向かう準備をする時期

ぞれの季節を存分に味わうことが子ども

人の一年間の成長にたとえて、

それ

日本の美しい四季の特徴(コンセプト)

学びに向かう力・人間性を築く

な知識や技能を身につける時期です

命を感じ、

またさまざま

夏は灼熱の太陽。

い現実に耐える

第4ステップ/冬

休む時期

二〜三人の子ど

行っていきます。 して育っていくにつれて変わる行動や反 好み、⑤周辺環境をまず把握すること、そ リズム、②動き方、③興味、関心、④性格や 意欲に合わせながら個々に合った保育を に子どもを当てはめてしまうのではな **挺のように安心して過ごせます** もにつき担当の保育者一 園や大人の都合で時間や場所や段取 できるだけ子どものリズムや意思 集団で保育を行う園と違って、 一人ずつ異なる①生活 **※**...

これらのステップを日々繰り返して、 然でなじみやす なり

ともに成長する 0

## 月ごとの コンセプト

4月 芽生え・生命との出会い 10月 プロセスを観察

5月 違いの探究 6月 筋道を学ぶ 11月 種と果実

12月 願いを叶えて

7月 行動・活動で表現

1月 めぐる世界・今と昔

8月 チャレンジ・チェンジ

思い出はきずな 2月

9月 乗り越えて進む強さ

3月 夢をつなげて

各季節のコンセプトから、上の表のように12か月のコンセプトを設定し、 月間の保育計画を作成しています(詳細は、30~35ページを参照)。

### 感謝の気持ちをもつ

- ●成果をもたらした今までの生活 環境に感謝する。
- ●しっかり休み、新たな芽生えの 春に向けてエネルギーを蓄える。



### 優しさを養う

- ●原因から結果へのプロセスを 慈しむ。
- ●一人一人プロセスが違うこと を理解する優しさをもつ。



0歳には0歳なりの、1歳には1歳なりの「命の大切さを知る」「強さ を身につける」「優しさを養う」「感謝の気持ちをもつ」保育を行ってい ます。年が改まるごとにまた新しい4つの段階を上がり、その積み重ね で子どもは成長します。





図示した四 「優しさ 「強さを

乳幼児期に始まり、生 涯にわたって身につけ ていきたいものです。

## 強さを身につける

●思い通りにならない現実を受け 入れる。

●困難でも前進できる知恵を身に つける。



## 命の大切さを知る

- ●本質に気づくために、学びを求め、 学習する。
- ●人に助けてもらいながら、さまざ まなことを吸収する。





幼児期に育みたい ここに掲げた四つのこころを育むことを 保育方針と 保育を行っています。

RICホープ保育園に寄せられる 保護者様の声をご紹介します!

先生がたが**子どもの変化に親と** 同じように気づいてくれるのが うれしいです。また、R I Cダ イアリーは私の楽しみであり癒 やしです。仕事中に送られてき て、力をもらえます。

長女が0歳から卒園(2歳)まで通ってい て、次女のMも迷わず入園させました。 RICでは年上の子が年下の子のお世話をす るので、自然に**年下の子にやさしくできる** 子になります。長女は卒園後に通う幼稚園 の運動会で、緊張している友達の横につい て、まるで先生の助手のようにフォローし たり慰めたりしていました。先生からも頼 られているようです。





先生が手間をいとわず寄り添ってく れてありがたい。例えばロンパース の肌着はNGの園が多いと聞きます が、おむつに手を入れる癖があった うちの子に先生が勧めてくれました。

小規模保育で入園前は不安もあ りましたが、一人一人の個性に 合わせた保育をしてくれて、食 事のマナーやトイレトレーニン グなど、園と相談しながらスム ーズに進められました。





子どもをとにかく**よく見てくれて、か** わいがってくれるところがよかったで す。毎日のようにお散歩で外に連れて 行ってもらえて楽しそうです。ŔÍĆ にしてよかったです。

保育の中で読んでもらった絵本に興味をも ち、「こんなにも楽しそうにするなんて」 とびっくりしたことがあります。今は小学 生になって、本を読むことが大好きです。 アットホームでゆったりした雰囲気の園で、 担当の先生でなくても気さくに、子どもの 様子を伝えてくれたりしたことがうれしか ったです。



※写真はRちゃんと保育士



お母さん、お父 さんが気になっ ていることを意 識して写真に収 めるようにして います。

担当以外の保育者も子ども を見守っています。担当以 外の保育者から「いいね!| が押されることもあります。

お昼休みの時間に読んでも らえるように、送信時間に も配慮しています。

「先生~、自分でお着 替えできたよ~」って 大きな声。



「おうちでもやって

みて、お母さんにも

見せてあげてね」と

約束しました。

Challenge

Reflection

「うれしいなぁ、一人で 着替えられたとこ見て てくれたの」と得意げな 005×ha

※パスワードを入れれば、

離れて住む祖父母様も

見ることができます。



パRICホープ保育園が おかげで、 おかげで、 おかげで、

保育のプロならではの視点

で、子どもの成長や発達の

表れを捉え、記録します。

-プ保育園



## 「ŔĺĆダイアリー」で できること

- ①保護者に日々の成長(振 り返り・感動・チャレ ンジ) をご報告
- ②お子様の写真、行事の 写真などをいつでもダ ウンロード
- ③行事の連絡や緊急時の 情報共有として活用

プ保育園の名前

0

保育者は子 できた!」 友達におもちゃを貸すこと V とりで着替えられた!

(挑戦)

 $\bigcirc$ (感

が瞬間で

振り 動、

を活用 オ  $\mathcal{O}$ Challenge 能性を見て 子どもの ń 0 ます 7 成長のサイクルにな いるReflection Impression

を見逃さな

収めて

えることで、 が保育の その プロで 子ども 子どもを見る保  $\mathcal{O}$ ちや 可

護者の視点も養われます。 気な 言動 0

フォンアプリを使っ

7

(1

くために

に連絡帳

加え独自の

ス マ

7 ΙĈ

(1

ます

保育の考えを家庭と共有

ともに推進

### 年齢別の保育目標

ł									
	年間目標		要着から様々な存在を認められる である。						
		コンセプト&【テーマ】	0 歳児月間目標						
	4月	芽生え・生命との出会い 【春】	新しい環境の中で、保育者との愛着関係を築きなが ら、本物に触れ、興味をもつ。						
	5月	違いの探究 【身体】	ふれあい遊びをする中で、体の一つ一つの部位に触れ、保育者や自分の体に興味をもつ。						
	6月	筋道を学ぶ 【水】	水に触れ、安心して水遊びを楽しみ、水の流れに興 味をもつ。						
	7月	行動・活動で表現 【色と形】	保育者に見守られながら、自ら好きな玩具で一人遊 びを楽しむ。						
	8月	チャレンジ・チェンジ 【大きさ】	新しい遊びに興味をもちながら、自分でしたいこと に積極的に取り組む。						
	9月	乗り越えて進む強さ 【受け入れ】	園での生活習慣に慣れ、自らできることに取り組み、 できたことに保育者とともに喜ぶ。						
	10月	プロセスを観察 【家】	戸外の建物や乗り物などに興味をもち、指さしをして伝えようとする。						
	11月	種と果実 【秋】	秋の自然に触れながら、集めたり、並べたりと、興味をもち、感触を楽しむ。						
	12月	願いを叶えて 【クリスマス】	歌や音楽に触れることを楽しみクリスマスの集いに 参加する。						
	1月	めぐる世界・今と昔 【世界の遊び】	一人一人の興味、関心の様子を見ながら、いろいろ な遊びに取り組む。						
	2月	思い出はきずな 【衣服】	少しずつ着脱に興味を示し、保育者や周りの友達に 手伝ってもらいながら、一緒に取り組もうとする。						
	3月	夢をつなげて 【成長】	新年度に向け、簡単な身のまわりのことを保育者と 一緒に取り組む。						

①年間目標と月のコンセプト&【テーマ】を見て、4月~3月までの発達をイメージし各月に考える ②発達内容が4月~3月で到達するように、スムーズな目標とする

③0~5歳までの年間目標、発達の流れをイメージして考え、月間目標の流れを確認する

保育(25ページ参照)を通じて担当の先 ごすこともよくありますが、育児担当制 くれる先生の存在を理解し始めます。 換し、就寝時に言葉をかけていくと、 生が根気よく離乳食を与え、おむつを交 慣れない環境に不安を感じて、泣いて過 っとそばにいて自分のことを受け入れて

ず 築かれます。

らの愛情を感じることで、やがて信頼感 きょろきょろと探したりします。先生か 育者との愛情のやりとりから信頼関係が が芽生えます。身体的なケアを通して保 いなくなると

• • • • • • • 存在を認められる 愛着からさまざまな

を認識することから始まります。 0歳児の「自己リーダーシッ は、 他者(保育者)の存在

初めて保育園で過ごす子どもは、

がて先生を目で追ったり、

# 〇歳児保育の三つのねらい(視点)

(身体的発達) 「健やかにのびのびと育つ」

ど生活にリズム感が生まれる。と体を動かし、その結果食事や と体を動かし、その結果食事や睡眠な快適な人間関係、環境の中でのびのび

(社会的発達) 担当保育者が丁寧に語りかけ、それに 子どもが応えようとすることから信頼 関係を築く 「身近な人と気持ちが通じ合う」

(精神的発達) 見る、触る、 「身近なものと関わり感性が育つ」

奇心をもち、表情や手足体の動きで表見る、触る、探索するなど、興味や好 現できるようになる。

厚生労働省「保育所保育指針」(平成30年改定)より

掲げています。 年齢共通の三つの保育目標を ページ参照)を育むために、 「自己リーダーシップ(20 保育園の中ではいろいろな 多様な人、物、事の 在を認められる。

です。 なければなりません。そのた あることを理解し、受け入れ 様な人、物、事は存在意味が 出来事が起こり、子どもにと ってはときとして心理的負担 情に基づく信頼関係が不可欠 めには、保育者と子どもの愛 になります。 しかし全ての多

たいことや夢に向かって行動

なり、

助けてもらうために自

始めると誰かの助けが必要に することができます。行動し

分のしたいことを表明し、コ

目標 **2** 保育者との信頼関係が養わ 引き受けられる。

えて進むことができます。 ミュニケーションで賛同を得 ながら、衝突や行き違いを越

えます。 ことができるようになると考 じて気づき、そして行動する 応援してくれていると思えた 自分を取り囲む人が、 とき、子どもたちは自分で感 れると、意欲が生まれます。 異なる他者もまとめ 自分を

られ、行動できる。

※年度末には、子どもたち一人一人の成長をこの保育目標に照らして保育者間で確認し合い、次の1年の成長をイメー ジしています。

目標1と目標2が達成でき

子どもたちは自分の

三つの目標と、各年齢における目標 私たちの保育理念を実現するために、

(内容とねらい)

を定めました。

い保育目標

### 年齢別の保育目標

		年間目標	欲求充足で遊びを楽しむ	好奇心を探究する					
		コンセプト&【テーマ】	1 歳児月間目標	2歳児月間目標					
	4月	芽生え・生命との出会い 【春】	新しい環境に慣れ、保育者との愛着関係に気づく中で、春の気候や本質の物に触れる。	新しい環境に慣れ友達や保育士と一緒に春ならではの生き物・植物などの本物との出会いを喜び触れ合う。					
	5月	違いの探究 【身体】	保育者に見守られながら、探究活動を楽しみ、 手遊びを通して、体の部位を知る。	保育者や友達と一緒に好きな遊びを十分に楽 しんだり体を十分に動かしたりすることを楽 しむ。					
	6月	筋道を学ぶ 【水】	保育者や友達と梅雨期ならではの遊びや、水遊びを十分に楽しむ。	保育者や友達とともに梅雨期ならではの遊び に興味をもち取り組む。					
	7月	行動・活動で表現 【色と形】	保育者と一緒にいろいろな玩具に触れる中で、 色分けしたり、積み上げたりすることを楽し む。	友達と言葉のやり取りを楽しみながら一緒に 水遊びを楽しみ、いろいろな玩具を使い遊び を広げる。					
	8月	チャレンジ・チェンジ 【大きさ】	水分補給をしっかりしながら、夏ならではの 新しい遊びに興味ををもち、十分に楽しむ。	水遊びを十分に楽しみ、新しい遊びを楽しん で取り組む。					
	9月	乗り越えて進む強さ 【受け入れ】	園での生活習慣に慣れ、身の回りのことに興味を持ち保育者と一緒に取り組む。	1日の流れを再度みんなで確認し一緒に取り組み、身のまわりのことが自分でできる喜び と満足感を味わう。					
	10月	プロセスを観察 【家】	体を十分に動かして遊ぶことを楽しみ戸外に 出たときには、いろいろな物を見て興味をも ち、伝えようとする。	友達と一緒に体を十分に動かす。戸外に出て 建物などにも興味をもつ。					
	11月	種と果実 【秋】	屋内外で友達と関わりながら秋の自然に触れ、 保育者に共感してもらいながら、十分に遊ぶ。	屋内外で友達と一緒に秋の植物・味覚に触れ 興味をもって遊ぶ。					
	12月	願いを叶えて 【クリスマス】	絵本などを介しての簡単な言葉のやりとりを通 し、クリスマスの集いを楽しむ。	友達や保育者と一緒にクリスマスの飾りをつけたりして、クリスマスの集いに参加できることを楽しむ。					
	1月	めぐる世界・今と昔 【世界の遊び】	新しい遊びに興味をもち、保育者と言葉を交わしながら、十分に楽しむ。	友達同士で一緒に遊ぶことを楽しみ簡単な ルールが理解できる。					
	2月	思い出はきずな 【衣服】	保育者に見守られながら、自ら、着脱に取り 組む。	経験したことを自発的に行い自分のことができるようになる。 模倣遊びを友達と十分に染しむ。					
	3月	夢をつなげて 【成長】	新年度に向け簡単な身のまわりのことを自分 でできるようになる。	新年度に向け身のまわりのことは意欲的に取 り組もうとする。					

①年間目標と月のコンセプト&テーマを見て、4月~3月までの発達をイメージし各月に考える

②発達内容が4月~3月で到達するように、スムーズな目標とする

③0~5歳までの年間目標、発達の流れをイメージして考え、月間目標の流れを確認する





出すことを大切にします。 欲につながっていくからです。 言葉の獲得や、 して何かを表現したいという欲求を引き 歳児と2歳児の2年間は、 新しいことへ挑戦する意 やがてそれが 経験を通 姿です。 界をごっこ遊びで再現し、言葉や体を動 れたし

表現したい」という欲求が満たされて、 かすことで「感じたり考えていることを 心地よさを感じます。

遊びを楽しむ 欲求充足で 保育者への信頼感を支えに、

自我が芽生える

児が「自 己リーダーシップ」を発揮する ようになりますが、 歳児は保育者に欲求を伝える それも1歳

ます。

その知りたい、

学びたいという気

と、子どもに探究する心が育ち

「泣いたら先生が気づいて駆け寄ってく

ちは遊びを発展させ、

持ちを保育者が大切にすると、子どもた

でやってみた」 「靴下を履くことに挑戦し、 気が済むま

> 心や意欲を育てて、 組むようになります。

「自己リー

ダーシッ

それがさらに探究 新たな挑戦に取り

プ」に欠かせない、

将来の夢を見つける

言葉」と出会い、気持ちを表すことによ 満足感を覚え、 っても育まれます。例えば自分が見た世 につながっていきます。 「先生が褒めてくれた」…… 欲求の充足は、 そんな体験が積み重なって、 それが自己肯定感(※) 遊びの中で 子どもは 音・

とを楽しむようになり、 とで、子どもたちはさらに人と関わるこ 訓練になります。 あかしだといえます。子どもたち一人一 する意欲や体を動かす意欲が増すととも 人の思いを保育者が認め、受け止めるこ 表に出し、 じ、何を求めているのかという気づきを 2歳児はできることは自分でやろうと それは子ども自身が、 言葉による伝え合いが始まる時期 自己主張できるようになった 成長します。 自分は何を感 (

って安心感から余裕が生まれる

欲求が充足する心地よさを知

探究する 好奇心を

厚生労働省「保育所保育指針」(平成30年改定)より

33

á	年間目標		生活習慣を軸に自信と信頼を深める	<b>── 友達と遊びを工夫し、自発的に取り組む</b> │	ニニニニー 自他との活動結果から達成感を味わう
1			3歳児月間目標	4歳児月間目標	
	4月	芽生え・生命との出会い 【春】	新しい環境に慣れ、保育者や友達に親しみ、春の自然に触れ、本物に出会うことで、心地よさを味わう。	進級したことを喜んで登園し、春の自然に触れ 本物を知り、自分の好きな遊びを見つけ友達と の触れ合いを楽しむ。	年長児になれた喜びを感じ、友達と一緒にいろいろな活動や 本物に興味をもって取り組む。
	5月	違いの探究 【身体】	自分の思ったことや気持ちを表現したり、全身 を使った遊びの心地よさを味わう。	同じ場で遊び友達と全身を使って、一緒に遊び、 情緒の安定を図る。	戸外遊びで友達と一緒に全身を使って遊ぶ楽しさを味わい、 健康に関心をもつ。
	6月	筋道を学ぶ 【水】	梅雨を通して水・砂・土・泥などの感触や心地 よさを味わい思い切り遊ぶ。	雨の日の過ごし方や遊び方を知り、水遊びを通して水の気持ち良さを感じ、開放感を味わう。	友達とアイデアを出し合いながら製作に取り組み、仲間意識 が生まれる。
	7月	行動・活動で表現 【色と形】	友達と一緒に水遊びを通して色々な形や色があることを知る。	いろいろな素材の性質に気づき、それらを使っ て自由な表現で製作を楽しむ。	自分の思いやイメージをさまざまな方法や活動で表現する。
	8月	チャレンジ・チェンジ 【大きさ】	遊びの準備や後片付けの仕方が分かり、自分で しようとする。	夏ならではの活動を十分に楽しみ、自分の体調変化にも意識を向ける。	夏の遊びを全身で楽しみ、自分なりの目当てを達成する喜び やあきらめずにやり遂げることの大切さを学ぶ。
	9月	乗り越えて進む強さ 【受け入れ】	友達や周囲の事に関心をもち、気の合う友達と 楽しむようになる。	思い欲求を相手に伝えたり、相手の思いを知る ことで、お互いに寄り添った関わりがもてるよ うにする。	自ら行ったことに関しての責任を感じられるようになる。
	10月	プロセスを観察 【家】	友達と一緒に体を十分に動かして遊んだり、建 物等に興味関心をもつ。	みんなで行う活動に喜んで参加し、友達同士で 想像のイメージを共有し、つながりを広げる。	友達と目的を共有しながら、一緒に遊びや生活をすすめる楽 しさや力を合わせることの大切さを知る。
	11月	種と果実 【秋】	友達と関わりながら、秋の実りや自然に触れ、 変化を発見する面白さや美しさなどを感じなが ら遊ぶ。	秋の自然に触れて、自発的に興味関心の対象に ついて調べたり、遊びを広げていく。	身近な秋の自然に触れながら、自然の仕組みにも興味をもち、好奇心や探究心を深める。
	12月	願いを叶えて 【クリスマス】	クリスマスの集いに向け、自分の思いを自分な りの方法で伝える。	みんなで楽しくクリスマスの集いに参加し、充 実感と達成感を味わう。	クリスマスの集いという共通の目的をもって、友達とイメージしを共有したうえで、考えたり、工夫したりしながら取り組む。
	1月	めぐる世界・今と昔 【世界の遊び】	正月の遊びや行事を友達や保育者と簡単なルー ルある遊び等を楽しむ。	正月遊び等を通し、友達と一緒に伝統文化に親 しみ、ルールを守って遊ぶ。	正月遊びを通し、友達と協力し遊びを進め、つくり出す楽し さを味わう。
	2月	思い出はきずな	興味のあることや経験したことなどを保育者や	友達と協力したり、認め合ったりしながら、一	生活に必要な態度や習慣を身につけ、見通しをもち、意欲的

【成長】 に気付こうとする。 ①年間目標と月のコンセプト&テーマを見て、4月~3月までの発達をイメージし各月に考える

友達と一緒に表現して楽しむ。

②発達内容が4月~3月で到達するように、スムーズな目標をする

【衣服】

夢をつなげて

③0~5歳までの年間目標、発達の流れをイメージして考え、月間目標の流れを確認する

シップ」 じて喜び合う体験から、 ながらも最後までやり切り、 アイデアを出す、 歳児です。たとえば共同製作であれば、 いく体験を大切にします。 ていくことで自然と大きなことができて で調べるなど、自分ができることをやっ して指示を出す、 が培われます。 連携して叶えようとするのが5 ない大きな目標や夢も、 達成感を味わう 友達と協力してやり遂げ 自分一人では叶えられそうに わからないことを図鑑 リーダーシップを発揮 「自己リーダ 困難に遭遇し 達成感を感 仲間と

欲的になれます。 意欲が湧いて、一緒に調べたり、話し合 うになるのが4歳児。 ったりしながら工夫することでさらに意 とがあっても友達と一緒なら再挑戦する うまくいかないこ

つのものをつくり上げる楽しさに気付く。

士の繋がりを求め活動を楽しむ。

友達に自分の気持ちを伝えたり、友達の気持ち 年長児になるという喜びと期待を持ち、友達同

いながら何かを創り出すことを楽しむよ

基本が身につく年齢です。友達と教え合 む」という、「自己リーダーシップ」の 体的に取り組む姿が協力者を生 ではなく『自分ごと』として主 4歳児は、「何事も他人ごと

友達と一緒に生活や遊びを進めていく充実感や達成感を味

に活動を進めていく。

わい、充実感から継続することを学ぶ。

自発的に取り組む

友達との遊びを工夫し

けるようにします。 気持ちを育み、自分への自信も深めて てきます。仲間と関わる中で思いやりの きまりがわかれば、 切であることにも気づきます。 よく遊ぶためにはルールを守ることが大 間と一緒に活動する中で、ともに気持ち 身につけるのが3歳児です。気の合う仲 貢献し合うという「自己リーダ -シップ」に欠かせない態度を 自信と信頼をもとに、 生活習慣も身につい ルールや 仲間と

社会性を身につける 3~5歳児

時期の特徴です。「自己リーダーシッ 動することができるようになるのもこの わる中で成長する時期です。 プ」が発揮されるように、子どもたちが を実現しようとする体験を大切にします。 また、自分で考え、見通しをもって行 3歳児~5歳児の三年間は、 共通の目的 友達と関

遊びや生活に対して能動的に関わる機会

を作るようにしています。



生活習慣を軸に 自信と信頼を深める

35

2月

3月

## も って生まれたもの

います。 ている 「おぎゃあ」と泣きます。 たりするのも自分がもっている 誰に教わったものでもなく、 子どもは生まれた瞬間から呼吸を始め、 お風呂でお湯がかかると息を止め 「何か」によって存在を主張して お母さんのおっぱいを吸い出し 自らも 「何か」 つ

がはたらいているからです。

れているのか、 意識領域に存在するのか、 のとして 呼んだりしていますが、 その潜在力は、命の中にあるのか、 般的には、 しています。 を大人になっても影響されるも 「潜在力」 誰にも説明できませんが そ の と名づけました。 「何か」 私たちはその DNA に記さ を本能と ŧ

潜在力とは

を感じることができます ろいろな場面で子どもたちの潜在力

とき、 子を見て、 るとき、 自ら手を放して一歩踏み出そうとしてい ようとしたとき、 などで つかまり立ちしている子どもが、 怖いと感じて泣いたり、 近づいて話しかけ 同じような年齢の ようとした 物陰に

ると、 ますが、 場面は大きくなるにつれ少なくなってき いないことを当たり前に行う姿を見つけ はたらいているのだと思います。 を感じて行動を起こしたときに潜在力が 潜在力はあるのだと確信します。 小学生になってからでも教えて そんな

その力を最大限引き出すための保育を求め もっている秘めた力があります。 大学と協同研究を行い どもたちにはそれぞれ生まれ 実践しています 私たちは たときから



お母さんの笑顔を見て初めて笑ったと

子どもが、 教えられていなくても何か

> を その可能性を使うことができるのでは いかと思います ともふとしたときにでてくる力、 体験が情報として蓄積され いる可能性を持っていて、 「潜在力」と呼んでいるのです 自分でも 7 あるとき、 意識せ t ħ な

## 潜在力が 埋もれて くとき

しょうか。 っていくように思 大きくなると潜在力は使わ () ます。 t れはなぜ れにくくな で

ない とき、 が して学習していくのですが、 いなかったらどうでしょう。 小学校で子どもどう からやめなさい 先生が中に入って 」と教えます。 しがけ ゖ も んかはよく h Ĺ かをし けんかを 先生 そう

その た力であり、 きなどに、 して痛かっ ときの気づきが、自分で見つけ出 はよくないことだと自ら気づきます 自分が痛くて泣いた体験から たとき、 潜在力だと考えます。 相手が泣き出したと

往々に 見つけられ におい にも 最適な行動を見つける力があるのです。 になってしまうのではない 自分で決めて行動することができない が教えてしま 教育は、 場面に応じて、 ń 知識を詰め込みすぎると潜在力が伏 潜在力を発揮する場面がなくな かかわらず、 てい して、 験をする前に 成長を促すためにあるのです なくなります 知識だけに頼り最適な行動が いがちです。 自分で見つけ 初めて遭遇する場面 誰に教わらなくとも 保育や教育の現場では 知識が先に積み上が そうすること でしょうか。 出す前に先生 など

# 潜在力をもち続ける保育

を保ち発揮しながら成長できるように、 子どもがもっている潜在力

> じたり、 意識からお昼ご飯に向けて行動できる潜 昼ご飯だ」と気づいたり、子ども自身の ではなく、 在力を引き出します 当的 お昼の時間だから「ご飯に な保育は 保育士のエプロン姿を見て 子どもがおなかがすいたと感 7 いません。 しようね」 ゙゙゙゙゙゙゙゙゙ぉ゙

子どもが自分の意志として行動できるよ る人になっていくのだと思います。 潜在力を発揮できる場面を大切に なることで、 しながら、 自己の存在を肯定し表 自分自身で成長で

それ 潜在力を使えたことに一緒に感動し、 を保育士が見つけ、 私たちはRー のプロセスを振り返りながら、 と 子どもたちの潜在力を引き出すために、 が次にチ 子どもが潜在力を発揮した瞬間 という循環です C サイ レンジできる環境を準備 そのときに至るまで クルを使っています その子が

自己と状況の皆稼

(出来事・結果)

新思考で目的・目標設定

在力を発揮 <del>-</del>クル 成長して んとは、 いく方法です 子ども自身が潜

## 子ども版RICサイクルの定義

新しいことに挑戦したり世界を広げるような成長のサどうしていたいかとかやりたいことに向けて、自分でどうしていたいかとかやりたいことに向けて、自分で子どもの内側から湧き上がる興味や好奇心に基づき、

てつながりを感じることで、自分の興味・関心やど友達やさまざまな人・ものに触れ、自然に触れたりきるように向けての行動が生まれる。 その過程でできなかったことを受け入れ、 周りとの関わりを見つけ、自信やエネル感じることで、自分の興味・関心やどう 自分でで

## **ത** 定義

に向けてチャレンジを行う変容プロセスに基づき、ありたい姿や実現したい社会自分の源泉から湧き上がるミッション

自信やエネルギーも得る。自信やエネルギーも得る。自信やエネルギーも得る。解消に向けての行動が生じる。解消に向けての行動が生じる。解消に向けての行動が生じる。解消に向けての行動が生じる。解消に向けての行動が生じる。

※RICサイクルは「省察·感動·チャレンジの自己変容プロセス ――源泉への注目から――」と題し、 京都大学医学研究科との産学連携の共同研究結果として2019年に人材育成学会で発表されました。

思考と感性で課題発見

した。それぞれがこのように関わり プ保育園の保育の考えをまとめま 私たちの保育を形づくって

潜在力 自己リーダーシッ

## 『自ら成長し、自立して貢献できる子』の育成

4つの 保育方針

愛情

1.命の大切さを知る

リック RICダイアリー

RIC サイクル

2.強さを身につける 3.優しさを養う

4.感謝の気持ちをもつ

## 実践

環境設定とオリジナルメソッド

3つの 保育目標

- 1.多様な人・物・事の存在を 認められる
- 2.自分で行動し、結果も引き 受けられる
- 3.異なる他者もまとめられ行 動できる

005ゃん 00<h 005ゃん [①コンセプト・プロジェクト保育] 夏 秋 [環境設定] 目的エリア 000エリア 体を動かすエリア [②育児担当制保育] 000エリア 000エリア 一人一人の子どもの ふれあいエリア 000エリア 年間保育計画 成長に合わせた保育 000エリア 000エリア ゴロゴロエリア 000エリア 000エリア 000エリア

き 自 間 の保育園 2 き な困難

39



#### 施設一覧

#### RICホープ水無瀬保育園

〒618-0011 大阪府三島郡島本町広瀬 3 丁目10-24水無瀬神宮内 TEL. 075-963-6771/FAX 075-963-6772

#### RICホープ御影

〒658-0054 兵庫県神戸市東灘区御影中町4丁目1-31 TEL. 078-262-1860/FAX 078-262-1861

#### RICホープ島本保育園

〒618-0013 大阪府三島郡島本町江川1丁目15-17 TEL. 075-963-2600/FAX 075-963-2601

#### RICホープ高槻保育園

〒569-0071 大阪府高槻市城北町 1 丁目 5-30 TEL. 072-676-7055/FAX 072-676-7056

#### RICホープ西成保育園

〒557-0052 大阪府大阪市西成区潮路 2 丁目 1-32 TEL. 06-6655-4006/FAX 06-6655-4007

#### RICホープ美原保育園

〒587-0054 大阪府堺市美原区南余部西1丁目1-2 TEL. 072-370-7147/FAX 072-370-7148

## お問い合わせ TEL.072-681-7465

(営業時間9:00~18:00 土日祝休み)

### 株式会社 パワフルケア

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町5番23号 ファイブビル5FTEL. 072-681-7465/FAX. 072-681-2443